

菅野 重清さんの「遺書」

原発さえなければ
姉ちゃんには大変お世話になりました
私の現度をこしました

ごめんなさい
大工さんには保険金で支払って下さい
原発さえなければと思います
残った酪農家は原発にまけないで
頑張ってください

先立つ不幸を
仕事をする気力をなくしました
ケサヨさんには
ことばで言えないくらいに
お世話になりました。

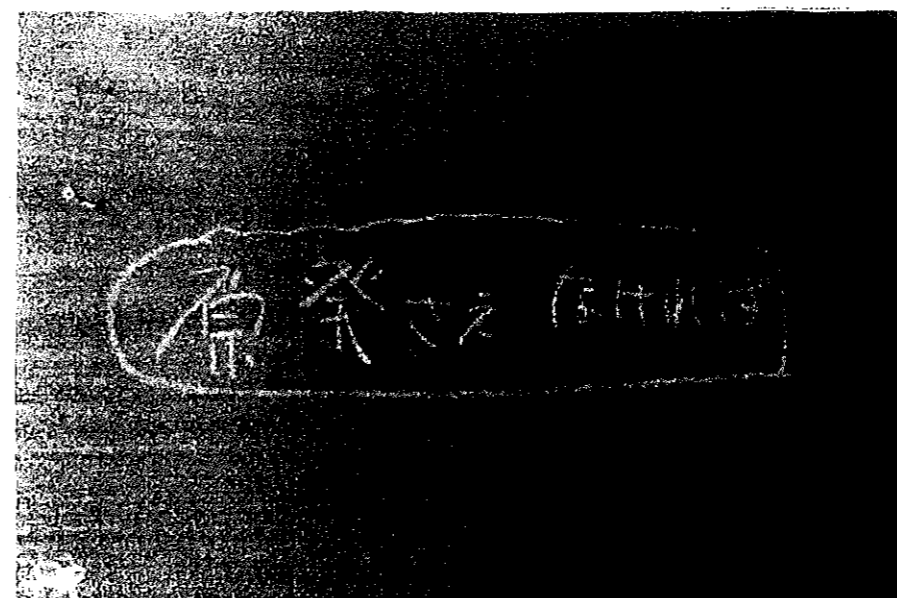
バネ 健太郎 純平
ごめんなさい なにもできない父親でした
仏様の両親にも もうしわけございません。

私は原発と借金に敗れました
ごめんなさい
健太郎 純平 バネ
父より強く頑張って生きて下さい
姉ちゃんにも多大な迷惑をかけました
ごめんなさい

原発の事故さえなければと思います

福島原発事故の三カ月後の二〇一一年六月十日に書かれた、福島県相馬市の酪農家の「遺書」です。

※牛舎の壁のベニヤ板や黒板に、仕事で使っていた白チョークで書かれていました。上記は書かれたそのままを打ち直しています。



げんぼつろ
じこご

わたしは

あかあつろと

いっしょに

にげろろろろ?

かえってろろろろ?

